



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門担当 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-72-6616

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,951	8.9	97		76		78	
2020年3月期第3四半期	1,792	10.4	53		75		78	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	26.03	
2020年3月期第3四半期	26.06	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	3,584	876	24.5	292.32
2020年3月期	3,466	798	23.0	266.28

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 876百万円 2020年3月期 798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,250	13.5	76	23.7	48	60.8	38	6.0	12.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	2,998,800 株	2020年3月期	2,998,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	株	2020年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	2,998,800 株	2020年3月期3Q	2,998,800 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報.....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、社会活動・経済活動は制限されておりますが、このような環境下においても製薬会社等による新薬の開発活動は継続している上、製薬会社が一部の業務をアウトソーシングする流れともあいまって、受託試験業界は堅調に推移しております。

このような中、当第3四半期累計期間における受託試験事業は、売上、利益ともに前年同四半期を上回りました。これは、受注が前年を上回った上、最終報告書の提出をおおむね予定どおり行うことができたことにより、売上高が前年同四半期を上回ったこと、長期大型試験がスタートしたことにより飼育室の稼働率が高いレベルで安定し試験原価が改善していること、試験現場の生産性向上に向けた取組によるコスト削減効果が得られたことによるものであります。

また、環境事業においては、理化学機器販売会社等と連携し、設備の更新時期を迎える大学・研究所等の動物関連施設の大型工事の取込み活動を継続しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大による工事案件の遅延が懸念されます。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における財政状態及び当第3四半期累計期間の経営成績は、以下のとおりとなりました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は1,951,804千円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益は97,899千円（前年同四半期は営業損失53,610千円）、経常利益は76,709千円（前年同四半期は経常損失75,705千円）、四半期純利益は78,073千円（前年同四半期は四半期損失78,155千円）となりました。

なお、保険契約の変更により生じた保険契約変更差額8,855千円を特別利益に計上しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(受託試験)

新型コロナウイルスの感染防止対策により委託者への訪問による営業活動は制限を余儀なくされておりますが、テレワークやWebセミナーを取り入れた営業スタイルを導入したこともあり、受注は前期に引続き堅調に推移しました。また、長期大型試験がスタートしたことにより飼育室の稼働率が高い水準で安定しております。

以上の結果、売上高は1,859,598千円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益は100,767千円（前年同四半期は営業損失53,058千円）となりました。

(環境)

当事業部門におきましては、大学からの工事案件を受注したほか、微酸性電解水生成装置の販売も伸びておりますが、当第3四半期累計期間中に完成引渡しとなった工事案件が少なかったこともあり、売上、利益ともに前年同四半期を下回っておりますが、当初の計画どおりに推移しております。

以上の結果、売上高は92,206千円（前年同四半期比18.1%減）、営業損失は2,868千円（前年同四半期は営業損失551千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,019,664千円となり、前事業年度末に比べ99,771千円増加しました。主な内訳は、売上債権の回収や前受金の増加等に伴う現金及び預金の増加46,383千円、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少301,139千円、受注残高の増加による仕掛品の増加323,764千円であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は1,565,136千円となり、前事業年度末に比べ18,352千円増加しました。主な内訳は、無形固定資産の取得によるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は1,715,771千円となり、前事業年度末に比べ76,032千円増加しました。主な内訳は、支払手形及び買掛金の増加138,295千円、返済の実行による短期借入金の減少100,000千円、前受金の増加99,642千円であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は992,417千円となり、前事業年度末に比べ35,982千円減少しました。主な内訳は、返済の実行による長期借入金の減少5,060千円、リース債務の減少等による固定負債「その他」の減少30,922千円であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は876,612千円となり、前事業年度末に比べ78,073千円増加しました。これは、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染拡大初期においては、受託試験の最終報告書提出に際し、在宅テレワーク等による委託者との意見集約にむけた連絡に著しく時間を要し、最終報告書の提出が予定より遅延する場合がありますでしたが、テレワークの定着に伴って委託者とのコミュニケーションが徐々に改善し、当第3四半期累計期間までには最終報告書提出の一部に遅延が生じたものの、ほぼ当初予定どおりに売上計上が行われました。今後も委託者とのコミュニケーションに起因する最終報告書の提出が延期される可能性はあるものの、大手製薬会社や大学等の予算執行の関係上、事業年度末(3月)には最終報告書の提出完了を求められることから、当事業年度末には当初予定どおり売上計上が行われるものと見込んでおります。

試験受注に向けた営業活動では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により委託者への訪問による営業活動は制限を余儀なくされましたが、テレワーク営業が定着した上、顧客のニーズを見据えたテーマによる顧客向けWebセミナーを定期開催するなど新たな営業スタイルを確立しております。SENDサービスの提供、わが国にはない動物種の試験や新型コロナウイルス関連の試験が可能な特色ある海外CROを国内製薬会社等に仲介する代理店営業、アジアを中心とした海外市場開拓等、数年にわたる営業戦略の成果により、堅調に受注が確保できております。

提出日現在において、当社試験研究センターにおける受託試験は順調に実施されております。また、環境事業を含め必要資材は、十分な在庫を保有しており、サプライチェーンも確保されております。

さらに、社員への感染拡大防止策として、全従業員の日々の健康チェック、社員のマスク着用や手洗いの励行、執務机毎のビニールバリアードの設置等を継続して実施しております。

以上のとおり、現段階では当該事象が業績に重要な影響を与えないものと想定しております。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響は、経済面だけでなく、社会全般に及んでいることから、今後の推移が想定と異なる場合、経営成績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。その場合、適時適切にその内容を開示いたします。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では計画通り進捗しており、2020年5月13日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	463,751	510,135
受取手形及び売掛金	441,109	139,970
商品及び製品	889	782
仕掛品	605,712	929,476
原材料及び貯蔵品	251,135	295,989
その他	157,295	143,310
流動資産合計	1,919,893	2,019,664
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,082,250	3,132,187
減価償却累計額	△2,488,467	△2,523,876
建物(純額)	593,782	608,311
土地	613,912	613,912
その他	1,005,972	994,628
減価償却累計額	△726,690	△741,426
その他(純額)	279,282	253,201
有形固定資産合計	1,486,976	1,475,424
無形固定資産	20,238	38,493
投資その他の資産		
その他	40,469	52,117
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	39,569	51,217
固定資産合計	1,546,784	1,565,136
資産合計	3,466,677	3,584,801
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,972	445,268
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	100,000	120,040
未払法人税等	10,509	12,918
前受金	768,817	868,460
賞与引当金	74,155	38,403
受注損失引当金	3,128	1,293
その他	276,153	229,388
流動負債合計	1,639,738	1,715,771
固定負債		
長期借入金	800,000	794,940
その他	228,399	197,477
固定負債合計	1,028,399	992,417
負債合計	2,668,138	2,708,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	△487,340	△409,267
株主資本合計	798,539	876,612
純資産合計	798,539	876,612
負債純資産合計	3,466,677	3,584,801

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,792,659	1,951,804
売上原価	1,344,239	1,307,560
売上総利益	448,419	644,244
販売費及び一般管理費	502,029	546,344
営業利益又は営業損失(△)	△53,610	97,899
営業外収益		
受取賃貸料	2,513	3,672
補助金収入	168	754
その他	151	541
営業外収益合計	2,833	4,968
営業外費用		
支払利息	21,127	21,949
為替差損	2,153	1,099
その他	1,647	3,110
営業外費用合計	24,928	26,158
経常利益又は経常損失(△)	△75,705	76,709
特別利益		
保険契約変更差額	—	8,855
特別利益合計	—	8,855
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△75,705	85,565
法人税、住民税及び事業税	2,450	7,492
法人税等合計	2,450	7,492
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,155	78,073

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,680,058	112,600	1,792,659
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,680,058	112,600	1,792,659
セグメント損失(△)	△53,058	△551	△53,610

(注)セグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託試験	環境	合計(注)
売上高			
外部顧客への売上高	1,859,598	92,206	1,951,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,859,598	92,206	1,951,804
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)	100,767	△2,868	97,899

(注)セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期損益計算書上の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。